

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人 名	伊藤 孝男 先生 (かるたの達人)
実施 校	豊明市立栄小学校
実施日・時間	平成20年6月17日(火曜日)
実施学級	クラブ(4年生～6年生) 対象人数 23人
授業の実際	<p>1 クラブ担当者による達人の紹介</p> <p>2 達人による百人一首の説明 達人がまず礼儀の大切さを話された。達人の毅然とした態度に児童も気持ちを引き締めていった。床での正座や背筋を伸ばしての座礼は児童にとっては経験が少なく、つい「痛い」「疲れる」と、声を出してしまったが、私語を慎むことも合わせて強調された。あっという間に児童も達人の言葉の世界に引き込まれ、集中して話に聞き入っていた。</p> <p>3 かるたとり 札の並べ方、4人で行うときのルール、早く取るテクニック等を教えていただき、実際にかるとりを行った。ステップを踏んで、一つ一つ丁寧に説明していただけたので、初めてかるたとりを行った児童も札をとることができた。札をとった児童、一瞬の差でとれなかった児童、それぞれの歓声も響いていた。 かるたとりの楽しさに合わせ、達人の札を読みあげる声に惹かれ、読みをまねる児童もあり、短時間ではあったが児童の興味の広がりを感じた。</p> <p>4 クラブ長によるお礼の言葉</p>
児童生徒の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 礼儀正しく行え、気持ちがよかった。 ・ 札の読み方がすばらしかった。 ・ ルールを知ることができ勉強になった。 ・ 昔の仮名遣いにふれることができてよかった。 ・ 家に百人一首があるので、家でもやってみたいと思った。 ・ 正座で足がしびれたけれど、楽しかった。
教師の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 達人の朗々と札を読みあげられる声に、空気が張り詰めた。児童が背筋を伸ばし、真剣に札に見入る姿に、私たち教師は学校生活においても礼儀やけじめの大切さを再認識し、今後の指導に活かしていこうと思う。 ・ 本校では国語力向上モデル事業推進校として研究を進めている。教師も達人の指導を受け、秋の学校公開日には5年生対象に「かるた大会」を開き、教育関係者や保護者にもこの良さを広めていこうと思っている。

